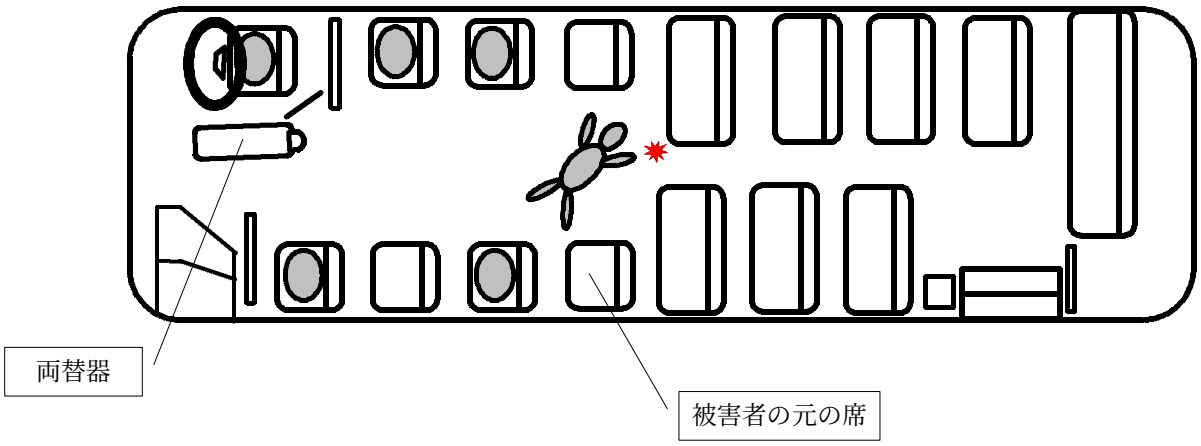
# 事故事例〔バ　ス　3〕

| | |
|---|---|
| 曜日・時間・天候 | 月曜日・8時20分・晴れ |
| 場　　所 | 市道　交差点 |
| 道路の状況 | 乾燥　幅員10.0 m |
| 運　転　者 | 年齢38歳　運転歴14年11ヶ月 |
| 乗務開始～事故発生の乗務距離 | 19 km |
| 損　　害 | 重傷者1名 |

〔事故概要〕

市道交差点で赤信号によりバスが停車したため、乗客の1人（88歳女性）が運転席横に設置してある両替器で両替をして、元の席に戻っていった。信号が青に変わるまで十分な時間があったため、運転者がその乗客は既に着席したものと思い込んでバスを発進させたところ、乗客はまだ着席しておらず通路に転倒したもの。

なお、事故直後被害者は「大丈夫」とのことで目的地で降車して帰宅したが、翌日になって骨折していたことが判明した。




| | |
|---|---|
| 種別・業態 | 普通・一般乗合 |
| 乗車定員 | 79名 |
| 当時の乗車人員 | 6名 |

**【事故の推定原因】**

○　発進時の車内安全確認不十分

**【事故の要因】**

○　発車の際、車内鏡等で車内安全の確認を怠った。
○　信号が青に変わり、あわててアクセルを踏んでしまった。
○　被害者が高齢で着席までに時間を要したのに運転者は着席したものと思い込んだ。
○　乗客が信号停車中とはいえ、走行時に両替のため車内で移動を行なった。

**【再発防止対策】**

○　発車時の車内安全確認の確実な実施
○　発進、停止時における緩やかなアクセル、ブレーキ操作の徹底
○　車内放送を利用した乗客に対する運行時の注意喚起
○　乗務員に対する安全運行のための基本動作励行指導及び監督の徹底

**【補足（事故発生時の処置）】**

○　被害者に対してすみやかな手当、必要な措置を講じるよう努める。
○　緊急時の対応方法、連絡指示方法を制定して、乗務員に徹底を図る。